

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		がん検診受診率向上対策				所管	健康部 保健サービス課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	153	計画事業名	がん予防対策の充実		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり						[事業開始] 平成 25 年度		
		[小 柱] (1)区民の主体的な健康づくりの支援						[終了予定] - 年度		
		[施 策] ②がん予防の推進								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	健康増進法第19条の2(市町村による健康増進事業)					
	事業対象	直接の対象 : 胃・大腸・肺・乳がん検診:40歳以上 子宮頸がん検診:20歳以上 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	がんの早期発見・早期治療、死亡率減少のため、検診と検診結果の精度管理を確実にし、がん検診の質の向上と受診率の向上を図る。								
事業内容 [29年度]	<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診精度管理委員会(26年度まではがん対策検討会)の代替として、胃がん内視鏡検査準備検討会を実施し、将来的な内視鏡検査導入に関する検討を実施。 ○検診結果の把握(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん) ○検診対象者(肺がん、乳がん、子宮頸がん)への受診勧奨・再勧奨の送付 ○その他、がんに関する啓発・周知 									
委託の有無	一部委託		委託内容	勧奨・再勧奨の印刷・印字・封入封緘委託						
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	がん検診精度管理委員会開催回数		回	1	2	1	0	2	0.0%
	成果指標	がん検診受診者数(5がん)		人	45,080	39,511	40,437	42,837	40,500	105.8%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				5,639		5,903		5,725
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				5,614		6,015		6,704
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				5,520		5,804		5,602
		総経費				120		99		122
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				5,128		1,866		1,841
一般財源(区負担額)				6,126		10,052		10,587		
前回評価から29年度に改善した事項	新たに胃、肺、乳がんの検診結果把握体制を整備するとともに、検診実施委託医療機関において判定方法を改めて整理するなど精度管理の向上を行った。また、要精密検査と判定された方を医療に促すため、総合健診受診票に同封している「健診のご案内」等で、再検査の重要性等に関する周知啓発を行った。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	がんの早期発見、早期治療を促進し、死亡率を減少させるためには、がん検診の質の向上とともに、受診率向上が必要不可欠である。							
	効率性	4	前年よりコストを維持しつつ、受診者数が大幅に増加し、目標を達成している。また、精度管理委員会の代替として胃がん内視鏡検査準備検討会を2回開催しており、効率的な事業運営を行っている。							
	手段の適切性	3	東京都が実施するがん検診精度管理評価事業に基づくデータを分析し、両医師会・検診委託医療機関と実施体制を検討し、課題に取り組んでいる。							
目的達成度	4	検診受診者数は年々増加しており、がんの早期発見・早期治療に一定の成果を果たしている。また、精度管理委員会の代替として胃がん内視鏡検査準備検討会を開催するなど、様々な精度管理の向上を図った。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
がんの早期発見・早期治療、死亡率減少のためには、がん検診の質の向上と受診率の向上が重要である。コストを抑えながらも、受診者は増加傾向にあり、胃がん内視鏡検査導入の検討や検診結果の把握に努めるなど、精度管理の成果もあがっている。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		